

令和 6 年度（令和 5 年度事業分）
菊陽町教育委員会点検・評価報告書（案）

目 次

1	趣旨	・・・ P.1
2	点検・評価の対象	・・・ P.1
3	菊陽町教育委員会の状況について	・・・ P.2
4	教育委員会の活動状況について	・・・ P.3
5	点検・評価について	・・・ P.7
6	菊陽町教育委員会外部評価委員会委員名簿	・・・ P.25
7	菊陽町教育委員会外部評価委員会開催状況	・・・ P.25

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、菊陽町教育委員会では、権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、教育行政の課題や取組みの方向性を明らかにし必要に応じ、適時適切に新しい課題に対する検討を進め新規事業への積極的な取り組みや継続事業の改善を図ります。

2 点検・評価の対象

菊陽町教育大綱（教育振興基本計画）の4つの基本施策を効果的にかつ着実に実施するため、令和4年度の取組の進捗状況について点検・評価します。
今回は、指標を定めた取組事項について選定し評価を行います。

3 菊陽町教育委員会の状況について

(1) 教育委員一覧（令和5年4月1日現在）

役 職	氏 名	任 期
教育長	二殿 一身	令和 5年 4月1日～令和 7年 3月31日
教育長職務代理者	紫垣 徹	令和 4年10月1日～令和 8年 9月30日
委員	坂田 和明	令和 2年10月1日～令和 6年 9月30日
委員	市原久美子	令和 3年10月1日～令和 7年 9月30日
委員	天野 智子	令和 元年10月1日～令和 5年 9月30日

(2) 菊陽町教育委員会事務局職員の状況 {令和5年4月1日現在（人）※正職員のみ}

課 名 等	職員数
教育部長	1
学務課（指導主事1名含む）	8
施設整備課	5
生涯学習課（ふれあいの森研修センター、南部町民センター、武蔵ヶ丘コミュニティセンター含む）出向1名含む	7
スポーツ振興課	5
図書館	4
人権教育・啓発課	3
合 計	33

(3) 小中学校の児童生徒数及び職員数 {令和5年5月1日現在（人）}

学校名	児童生徒数	県費教員数	町費職員数
菊陽中部小学校	801	52	22
菊陽南小学校	88	14	8
菊陽北小学校	529	35	18
武蔵ヶ丘小学校	258	25	10
菊陽西小学校	884	58	20
武蔵ヶ丘北小学校	466	32	17
菊陽中学校	643	46	18
武蔵ヶ丘中学校	864	57	22
合 計	4533	319	135

※ 他に、適応指導教室（すぎなみ教室）4名、スクールソーシャルワーカー3名、スクールカウンセラー1名、学校教育アドバイザー1名を町費会計年度任用職員として雇用しています。

4 教育委員会の活動状況について

(1) 教育委員会議の構成

ア 会議の種類

定例会（各月1回開催）、臨時会（必要に応じて開催）

イ 構成員

教育長、教育委員4人、教育部長、学務課長、施設整備課長、スポーツ振興課長、生涯学習課長兼中央公民館長、図書館長、人権教育・啓発課長、学務課長補佐兼指導主事、学務課総務係長、学務課学校教育係長

(2) 会議の運営状況

令和5年度における菊陽町教育委員会の定例会の主な活動状況は、次のとおりです。

開催日	会議区分	主な議題等
令和5年 4月25日	1回定例教育委員会会議	1 菊陽町教育委員会事務局の組織及び職員の職の設置に関する規則の一部を改正する規則に係る専決処理の報告及び承認について 2 総合体育館開設準備室設置要綱の廃止に係る専決処理の報告について 3 令和5年度菊陽町教育委員会取組の重点等について 4 令和5年度主任等の任命について 5 菊陽町スポーツ推進委員の委嘱に係る専決処理の報告及び承認について 6 菊陽町社会教育委員の委嘱について 7 菊陽町ふれあいの森研修センター運営委員会委員の委嘱について 8 区域外就学願いについて
令和5年 5月23日	2回定例教育委員会会議	1 菊陽町教育委員会事務局処務規定の一部を改正する規定に係る専決処理の報告及び承認について 2 菊陽町学校運営協議会委員の委嘱について 3 菊陽町武蔵ヶ丘コミュニティセンター運営委員会委員の委嘱について 4 菊陽町南部町民センター運営委員会委員の委嘱について 5 区域外就学願いについて
令和5年 6月27日	3回定例教育委員会会議	1 菊陽町就学援助支給規則の一部を改正する規則の制定について

開催日	会議区分	主な議題等
		2 菊陽町図書館図書管理システム更新における図書館の臨時休館について 3 令和4年度菊陽町社会教育委員の委嘱について 4 令和4年度菊陽町公民館運営審議会委員の委嘱について 5 区域外就学願いについて
令和6年 7月24日	4回定例教育委員会	1 令和5年度菊陽町就学援助支給対象者の決定（追加分）について 2 区域外就学願いについて
令和5年 8月3日	臨時教育委員会	1 教科書採択について
令和5年 8月29日	5回定例教育委員会会議	1 令和5年度菊陽町就学援助支給対象者の決定（追加分）について 2 区域外就学願いについて
令和5年 9月26日	6回定例教育委員会会議	1 菊陽町民体育館管理規則並びに菊陽町町民総合運動場管理及び使用規則の一部を改正する規則について 2 令和5年度菊陽町就学援助支給対象者の決定（追加分）について 3 区域外就学願いについて
令和5年10月24日	7回定例教育委員会会議	1 令和5年度菊陽町就学援助支給対象者の決定（追加分）について 2 区域外就学願いについて
令和5年11月21日	8回定例教育委員会会議	1 令和5年度菊陽町就学援助支給対象者の決定（追加分）について 2 区域外就学願いについて
令和5年12月22日	9回定例教育委員会会議	1 教育支援委員会の答申について 2 令和5年度菊陽町就学援助支給対象者の決定（追加分）について 3 区域外就学願いについて
令和6年 1月23日	10回定例教育委員会会議	1 令和5年度（令和4年度事業）菊陽町教育委員会点検・評価報告書（案）について 2 令和5年度菊陽町就学援助支給対象者の決定（追加分）について 3 令和5年度菊陽町就学援助支給対象者の決定（入学予定者分）について 4 区域外就学願いについて

開催日	会議区分	主な議題等
令和6年 2月27日	1 1 回定例教育委員会会議	1 区域外就学願いについて
令和6年 3月22日	1 2 回定例教育委員会会議	1 菊陽町教育委員会事務局の組織及び職員の職の設置に関する規則の一部を改正する規定の制定について 2 菊陽町立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について 3 菊陽町社会教育指導員の設置に関する規則の一部を改正する規則の制定について 4 菊陽町教育委員会事務局処務規程の一部を改正する訓令の制定について 5 菊陽町図書館ホールの臨時休館について 6 菊陽町地域人権教育指導員の任命について 7 菊陽町社会教育指導員の任命について 8 菊陽町スポーツ推進員の委嘱について 9 区域外就学願いについて

(3) 菊陽町教育委員会学校訪問等の実施

ア 訪問の内容・目的

学校施設の状況の視察及び各学級の授業を参観することで、学校教育における指導上の主な問題点等の解明に努め、指導等を行うことにより教育の推進の援助を行います。

イ 町内小中学校への訪問状況は、次のとおりです。

訪問日	訪問した学校
令和5年 6月19日	総合訪問 菊陽北小学校
令和5年 6月26日	町学校訪問 中部小小学校、武蔵ヶ丘小学校
令和5年 6月27日	町学校訪問 武蔵ヶ丘北小学校
令和5年 6月30日	町学校訪問 菊陽南小学校、菊陽中学校
令和5年 9月21日	総合訪問 菊陽西小学校校
令和5年10月31日	総合訪問 武蔵ヶ丘中学校

(4) その他の活動

ア 各行事への出席

各種研修会、小中学校の学校行事や町の行事へ積極的に参加しました。

イ 出席状況

令和5年度における各行事への主な出席状況は、次のとおりです。

期日	内容	委員の 参加人数
令和 5 年 4 月 3 日	教職員辞令交付式	4 人
令和 5 年 4 月 4 日	新規採用教職員就任式	4 人
令和 5 年 4 月 11 日	小中学校入学式	4 人
令和 5 年 5 月 27 日	小学校運動会	4 人
令和 5 年 7 月 26 日	教職員全員研修会	4 人
令和 5 年 8 月 3 日～4 日	第 14 回九州地区市町村教育委員会研修大会	3 人
令和 5 年 8 月 8 日	菊陽町子ども議会	3 人
令和 5 年 10 月 20 日	菊池郡市中体連駅伝大会	4 人
令和 5 年 11 月 28 日	菊陽北小学校 学力充実推進校研究発表会	4 人
令和 6 年 2 月 1 日	熊本県市町村教育委員大会	2 人
令和 6 年 2 月 26 日	初任者実践発表会	4 人
令和 6 年 3 月 8 日	中学校卒業式	4 人
令和 6 年 3 月 12 日	教育論文表彰式	2 人
令和 6 年 3 月 21 日	小学校卒業式	4 人
令和 6 年 3 月 29 日	退職者辞令交付式	4 人

(5) 総合教育会議の開催について

ア 期日 令和 5 年 12 月 22 日

イ 協議事項

1. 給食費の無償化
2. 学力の向上
3. グローバル人材の育成
4. ふるさと教育
5. 教育支援の充実
6. 働き方改革

(6) こども家庭相談課との連携について

令和 3 年 11 月に、こども総合相談室が開設され、こどもをサポートするための空間であることを目標に、庁内関係各課、関係機関と連携し、協働で問題解決を行っています。

令和 6 年 4 月からは、こども家庭相談課が新設され、専門家が小・中学校を定期巡回し、学校単独では支援が困難な複合化・複雑化したケースや教育的支援が必要な場合は、必要に応じて、こども家庭相談課と教育委員会とが連携し、支援を行っています。

5 点検・評価について

整理番号 1、2、3・・・学務課

整理番号 4、5・・・施設整備課

整理番号 6、7、8・・・生涯学習課

整理番号 9・・・スポーツ振興課

整理番号 10、11・・・図書館

整理番号 12・・・人権教育・啓発課

事務事業評価表

整理番号	1
------	---

評価対象年度	令和5年度		
担当課名称	教育委員会 学務課		
取組方針	基本施策	1	学校教育の充実
	具体的な取り組み事項	①	子どもたちの「生きる力」を育む教育の充実(P.8)
		ア	「熊本の学び推進プラン」を生かした各学校の取組の積極的な支援
		イ	小学校における教科担任制や少人数指導・習熟度別指導などの実施

【取組の達成状況】

指 標		令和5年度(実績)			評価	
成果指標（事業の目的の成果を測る指標）		単位	目 標	実 績		達成率
自己評価	県学力調査(町平均と県平均の差) (P.9)	小 国語	+3	3.4	113.3%	A
		小 算数	+3	2.4	80.8%	B
		中 国語	+3	2.9	95.0%	B
		中 数学	+3	6.2	206.7%	A
		中 英語	+5	6.8	136.0%	A

A 達成できた(100%以上) B まあまあ達成できた(80%～) C 半分程度達成できた(60%～)
D あまり達成できなかった(40%～) E 達成できなかった(0%～)

小3	国語	2.6	算数	1.9
小4	国語	4.3	算数	0.6
小5	国語	3.3	算数	3.8
小6	国語	3.4	算数	3.4

中1	国語	2	数学	5.1	英語	6.9
中2	国語	3.7	数学	7.3	英語	6.7

【Plan】事業の計画と概要 【Do】実績

ア①子ども達の学びの側から「構想する」授業実践		期 間	～				
概要	公立小・中学校教職員の教育研究意欲を高め、教員の資質向上を図るため、町の教育の振興を図る。 ① 町学力充実研究指定校 ② 町教育委員会教育論文	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
令和5年度の取組内容	町学力充実研究指定校では、2年目を迎えた菊陽北小学校が11月に研究発表会を行い、研究の成果を町内の学校へ普及した。また、町教育委員会教育論文については、個人論文35品、学校論文8品の出品があり、研究の成果を得た。これらの成果を踏まえて学力向上に向けて菊陽町全体で取り組む「きくようスタンダード」を作成した。	1,427	1,250	1,250			

ア②熊本県教育庁と連携した研修の充実		期 間	令和2年 ～ 終期未定				
概要	熊本県菊池教育事務所が行う、学力向上サポート事業や「学力向上に向けた授業づくりの視点」を校内での研修で活用し授業力向上を図る。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
令和5年度の取組内容	学力向上サポート事業は菊陽北小学校で実施し、授業改善を学校総体として取り組んだ。また、菊陽北小学校での取組や「学力向上の授業づくりの視点」を生かした取組を好事例として町内の小・中学校でも校内研修で授業改善の指標として共有した。さらに各学校の校内研修での取組を反映させて「きくようのちから」を改定した。	0	0	0			

イ③小学校教科担任制の実施に向けた取組の推進		期 間	令和2年 ～ 終期未定				
概要	担当教科の教材研究を深めることで、より授業の質の向上を提供するとともに、学力の学級間格差をなくし、ひいては、中学校との円滑な接続を行うことで、児童の学力の向上を目指すことを目的とする。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			0	0	0		
令和5年度の 取組内容	教科担任制の実施に向けて時間割作成の工夫や学級数が多くない小学校で複数学年の教科を担当する工夫など、各学校で行われている好事例を教務主任会で共有した。						

イ④少人数指導・習熟度別指導による、個別最適な学びの推進		期 間	～				
概要	少人数指導・習熟度別指導を行うことで、児童生徒によりきめ細やかな指導を行うことで、児童生徒の学力の向上を目指すことを目的とする。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			0	0	0		
令和5年度の 取組内容	少人数加配がある学校において、小学校では算数、中学校では数学、英語の少人数指導・習熟度別指導を実施した。						

【Check】事業の評価【Action・Plan】今後の方向

成果と課題	成果としては、成果指標である県学力調査では町平均と県平均の差が3ポイント上回っている教科は14教科中10教科と取組方針の成果が現れていた。また、菊陽北小学校での2年間にわたる研究活動や教育論文の取組は、学力向上だけでなく、教職員の専門性向上や、教育全体の質向上にも大きく貢献した。さらに、町全体で共通の実践を行うことで、児童の学力状況の比較や、教員の指導力に関する情報共有が円滑に行われました。 課題としては、まだ成果指標を上回れていない学年教科もある。また、学年全体では成果指標を上回れていても学校ごとの状況の違いがあり、各学校の児童数、学級数、教員の経験年数など、学校ごとの状況は様々であるため、他の学校の事例がそのまま本校で有効とは限らず、本校の状況に合わせて工夫する必要がある。
外部評価委員の意見	●今後の菊陽町の教育の柱となる、グローバル人材の育成や、多文化共生の推進、ICTの活用も含めて、今後もしっかりと学力の定着に向けて取り組んでいただきたい。 ●教科担任制の導入により、教職員の教材研究をする時間が十分に確保できるようになり、担任だけでなく、複数人でクラスを見ることで、協力関係が生まれ、子どもたちもたくさん先生に教えてもらうことで楽しんで学習ができる。 ●先生たちが、これまで何を実践したかを話し合っ、それを冊子にして活用することで、今後の取り組みや実践に役立てられるのではないかな。

事務事業評価表

整理番号	2
------	---

評価対象年度	令和5年度		
担当課名称	教育委員会 学務課		
取組方針	基本施策	1	学校教育の充実
	具体的な取り組み事項	①	子どもたちの「生きる力」を育む教育の充実(P.8)
		エ	英語教育の一層の充実

【取組の達成状況】

指 標			令和5年度(実績)			評価
成果指標（事業の目的の成果を測る指標）		単位	目 標	実 績	達成率	B
自己評価	英検3級以上取得率(中学生)(P.9)	%	55	40.5	73.63%	

A 達成できた(80～100%) B まあまあ達成できた(60～80%) C 半分程度達成できた(40～60%)
D あまり達成できなかった(20～40%) E 達成できなかった(0～20%)

【Plan】事業の計画と概要 【Do】実績

①実用英語技能検定（英検）受験料の補助		期 間	平成30年 ～				
概要	高度情報化、国際化社会に対応できる幅広い知識と有用な技術、能力を有する人材を育成することを目的とし、菊陽町立の小学6年生と中学2，3年生へ英検受験料を補助する。	事業費 （決算額） 単位：千円	R3	R4	R5	R6	R7
			4,082	4,090	4,054		
令和5年度の取組内容	中学3年生の英検3級以上の受験料2352千円（514人）、中学2年生の英検4級以上の受験料1362千円（468人）を負担した。また、小学6年生は英検Jr.の機会を設け、受験料340千円（485人）を負担した。						

②九州ルーテル学院大学との連携による英語活動の実施		期 間	平成22年 ～				
概要	小学校外国語活動に関して相互の機能を活用して実践的な連携協力を行い、教育の充実発展を目的としている。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			40	19	3		
令和5年度の取組内容	連携協定を行っている九州ルーテル学院大学から、小学校英語活動のため補助として1名が6回、大学生ボランティアとして小学校へ派遣され、3千円を支出した。						

③外国語指導助手(ALT)とのチーム・ティーチングによる英語教育の充実		期 間	～				
概要	ALTを各小中学校へ派遣し、学校行事等における児童・生徒との交流や英語指導を行う。また、教員の外国語及び外国語活動に関する研修を行う。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			9,460	9,460	9,460		
令和5年度の取組内容	各小中学校へALT2名を派遣し、児童生徒との交流や英語指導、英検対策等を行った。						

④中学生海外派遣事業の実施		期 間	平成8年 ～				
概要	オーストラリア国民との交流を深め、国際化時代に生きる人材を育成するため菊陽中学校、武蔵ヶ丘中学校の生徒を派遣する。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			0	0	0		
令和5年度の 取組内容	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為、オーストラリアバッカスマーシュグラマー校の生徒と菊陽西小学校6年生児童(2学級)がオンラインで交流を実施する予定で準備を進めていたが、オンラインの接続の問題等で実現できなかった。						

⑤ バッカスマーシュ・グラマー校生徒のホームステイ受入交流の実施			期 間		～				
概要	交流先であるオーストラリアのバックスマーシュ・グラマー校生徒を迎え、菊陽町立小中学校の児童生徒と交流を行う。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7		
			0	0	0				
令和5年度の 取組内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、実施していない。								

【Check】 事業の評価【Action・Plan】 今後の方向

成果と課題	令和4年度から小中学校の外国語指導担当者での研修会を行った。研修の中では、小中学校での学習のギャップをどのように改善していくのか検討し、小学校と中学校で授業研究会を行った。その中で、菊陽町で小中学校で子どもが「英語を好きになること」を目標に指導に当たることを確認することができた。 英検3級以上の取得率は、県の目標値である40%を上回っているが、目標を達成するためには、教師の授業力向上を図るとともに、児童生徒が英語に触れる機会を増やし、生活の中での有用感を感じられるような環境づくりを行う必要がある。
外部評価委員の意見	●外国語の授業において、子どもに英語を指導できるJ-SHINE(ジェイシャイン)の資格を持つ方の活用をしてはどうか。 ●オーストラリアの海外派遣事業は、選考された中学生が対象で、行きたくても行けない中学生もいる。年齢関係なく、誰でも参加できるような国際交流イベントを開催してはどうか。

事務事業評価表

整理番号	3
------	---

評価対象年度	令和5年度		
担当課名称	教育委員会 学務課		
取組方針	基本施策	1	学校教育の充実
	具体的な取り組み事項	①	子どもたちの「生きる力」を育む教育の充実(P.8)
		ウ	ICT教育の充実、企業や大学等と連携したプログラミング教育やキャリア教育の推進
		②	社会に開かれた教育課程の実現(P.9)
		ア	ICTの活用による家庭学習の充実

【取組の達成状況】

指 標		令和5年度(実績)			評価
成果指標（事業の目的の成果を測る指標）	単位	目 標	実 績	達成率	A
自己評価	教育情報化認定制度優良校数(P.9)	校	8	8	100%

A 達成できた(80～100%) B まあまあ達成できた(60～80%) C 半分程度達成できた(40～60%)
D あまり達成できなかった(20～40%) E 達成できなかった(0～20%)

【Plan】事業の計画と概要 【Do】実績

ウ①ICT機器を活用した授業の充実		期 間	令和 年 ～				
概要	電子黒板等のデジタル機器を整備し、国が推進するGIGAスクール構想と併せ、教育のICT化を図る。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			68,173	76,638	76,367		
令和5年度の取組内容	平成30年度に整備した電子黒板の更改(小学校125台、中学校57台)と、増級に伴う追加整備(小学校4台、中学校3台)を行った。						

ウ②誘致企業等と連携したプログラミング教育のワークショップ等の実施		期 間	令和2年 ～				
概要	令和2年度から小学校・中学校と順次、プログラミング教育が必修化され、論理的思考回路を育むためプログラミング教育を推進する。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			516	0	0		
令和5年度の取組内容	令和2年度に整備したtoioを活用し、本町に立地するソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)熊本TECとの連携によるプログラミング教育ワークショップを菊陽中部小学校、武蔵ヶ丘小学校で実施した。また、県立技術短期大学校との連携によるワークショップを菊陽南小学校、菊陽西小学校で実施した。						

③キャリアパスポートを活用したキャリア教育の推進		期 間	～				
概要	児童生徒が行事や生活での節目にキャリアパスポートを活用し、自らの学習状況や活動内容を振り返り、自己評価を行う。このことを通して、自身によるキャリア形成を図り、自己実現に向け主体的に学ぶ力を育む。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			61	61	73		
令和5年度の取組内容	年度初めに、キャリア教育担当者会を開催し、キャリア教育の必要性を確認するとともに計画的・継続的にキャリアパスポートを活用しながらキャリア教育を実施した。						

ア④タブレット端末を活用した持ち帰り学習とオンライン授業の実施		期 間	令和2年 ～				
概要	児童生徒一人1台タブレット端末と高速大容量の通信ネットワークを整備し、新型コロナウイルス感染症等の緊急時でも学びを保障できる環境を整備するとともに情報活用能力を育成する。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			40,495	63,522	64,067		
令和5年度の 取組内容	AI型ドリルを中心とした学習支援サービスを導入し、児童生徒一人ひとりの学習状況に合わせて最適な問題に取り組むことができる体制整備を行った。						

【Check】事業の評価【Action・Plan】今後の方向

成果と課題	ICT機器の整備により、教職員ではデジタル教材を活用した業務の効率化や働き方改革につなげることができた。また、児童生徒の活用では、画像や動画を見ることで紙だけでは伝わらない情報を視覚的、聴覚的に学習することができたことや学習支援ソフトを活用することで児童生徒の協働的な学習場面を設定し、学びあう環境を整えることができた。 教職員に対しては、ICTツールの使い方だけでなく、教育現場での効果的な活用方法を学ぶ研修等を実施し、また、児童生徒に対しては、ICTの活用方法だけでなく、情報リテラシー教育も行う必要がある。
外部評価委員の意見	●プログラミング学習は、問題解決の手順を学ぶ上で、答えは一つではなく、何通りもあるということを学習することができ、子どもたちの人間性を高める意味でも重要である。引き続き取り組んでいただきたい。 ●電子黒板や、一人1台タブレット端末の整備にかかる事業費は、大変高額であるが、費用対効果を明確にして、しっかりと活用に向けて引き続き推進していただきたい。 ●ICTを活かして、タブレットで多言語の子どもたちと実際に話したりできるような活用を推進していただきたい。

事務事業評価表

整理番号	4
------	---

評価対象年度	令和5年度		
担当課名称	教育委員会 施設整備課		
取組方針	基本施策	1	学校教育の充実
	具体的な取り組み事項	③	学校教育施設・設備の環境整備(P.9)
		イ	経年劣化に対応した計画的な大規模改修などの実施

【取組の達成状況】

指 標		令和5年度(実績)			評価
成果指標（事業の目的の成果を測る指標）		単位	目 標	実 績	達成率
自己評価	建物の大規模改修実施済施設数(P.10)	施設	3	2	67%

A 達成できた(80～100%) B まあまあ達成できた(60～80%) C 半分程度達成できた(40～60%)
D あまり達成できなかった(20～40%) E 達成できなかった(0～20%)

【Plan】事業の計画と概要 【Do】実績

①長寿命化計画に基づいた計画的な改修の実施		期 間	令和2年 ～ 終期末定				
概要	菊陽町の学校施設は、昭和49年から平成2年にかけて多くの校舎が建設され、これらの施設が一斉に更新時期を迎えつつあり、老朽化の波が押し寄せている。長寿命化改修や改築は、多大な費用を要する上、改修時期が重なる施設が多いことから事業量及び事業費の平準化を図る必要があることから計画的な改修を実施するもの。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			0	0	968		
令和5年度の 取組内容	武蔵ヶ丘北小学校の大規模・長寿命化改修工事設計業務に着手し、令和6年度へ繰越した。						

②武蔵ヶ丘北小学校大規模改修		期 間	令和5年 ～ 令和10年				
概要	武蔵ヶ丘北小学校は、建設から34年が経過し、大規模改修工事が必要な時期となっていることから、長寿命化計画に基づき大規模改修工事を実施するもの。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			0	0	968		
令和5年度の取組内容	設計に着手、地質調査を実施し、設計を令和6年度へ繰越した。						

【Check】事業の評価【Action・Plan】今後の方向

成果と課題	武蔵ヶ丘小学校、菊陽中部小学校及び菊陽中学校は、耐震対策の実施と共に大規模改修を実施した。また、菊陽北小学校は、平成30年度から令和2年度にかけて大規模改修工事を実施している。 武蔵ヶ丘北小学校は、令和5年度に大規模・長寿命化改修工事の設計に着手し、令和7年度から令和10年度にかけて工事を実施する計画である。 その他の未改修の学校では、老朽化が進んでおり大規模改修が急がれるが、菊陽町は、児童、生徒数が未だ増加している学校があり、その対策を優先せざるを得ないため、大規模改修の時期が先延ばしになっている。
外部評価委員の意見	●武蔵ヶ丘北小学校は、大規模改修工事の設計に着手しているとのことだが、現校舎は、来校者が玄関から入って、職員室を通過して教室にいくような特殊な形であり改善が必要である。今後も、子供たちのために様々な課題に配慮して、引き続き事業を進めていただきたい。 ●特別支援学級が増えていくたびに教室が不足していく現状があると思うが、今後も柔軟性を持った教室の配置並びになるように、引き続き教育環境の改善を進めていただきたい。 ●教職員が、働きやすい動線となるような施設を整備していただきたい。 ●評価としては、継続事業であり、E判定となっているが、計画的に進められており、成果としては良好である。

事務事業評価表

整理番号	5
------	---

評価対象年度	令和5年度		
担当課名称	教育委員会 施設整備課		
取組方針	基本施策	1	学校教育の充実
	具体的な取り組み事項	③	学校教育施設・設備の環境整備(P.9)
		ウ	給食のあり方を含めた給食調理場の改修・機能強化

【取組の達成状況】

指 標		令和5年度(実績)			評価
成果指標（事業の目的の成果を測る指標）		単位	目 標	実 績	達成率
自己評価	給食室のドライ方式調理場数(P.10)	施設	7	5	71%

A 達成できた(80～100%) B まあまあ達成できた(60～80%) C 半分程度達成できた(40～60%)
D あまり達成できなかった(20～40%) E 達成できなかった(0～20%)

【Plan】事業の計画と概要 【Do】実績

①長寿命化計画に基づいた計画的なドライ方式への改修の実施		期 間	令和1年 ～ 終期末定				
概要	菊陽町の全8校のうち菊陽中部小学校、菊陽西小学校、菊陽中学校、武蔵ヶ丘中学校及び菊陽北小学校の5校については、改修、改築が完了しており、学校給食衛生管理基準に適合したドライシステムの調理場となっている。残りの未改修の3校について、計画的に給食室の改修または改築を実施するもの。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			304,062	159,346	325,322		
令和5年度の取組内容	菊陽北小学校給食室は、令和4年度からの工事が完成し、令和5年8月から新しい給食室で調理を開始した。武蔵ヶ丘北小学校給食室は、令和4年度から着手した設計業務が、令和5年度に完了した。武蔵ヶ丘小学校給食室は、設計業務に着手し、令和6年度へ繰越した。この2校については、令和6年度に工事着手する。						

②菊陽北小学校給食室新築工事		期 間	令和1年 ～ 令和5年				
概要	菊陽北小学校の給食室は、調理能力を遥かに超えている状況であり、今後も更に食数が増加する見込みであることから、学校給食衛生管理基準に適合したドライシステムの給食室を整備するもの。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			242,677	156,743	302,272		
令和5年度の 取組内容	令和4年度に工事着手し、令和5年5月に完成、令和5年8月から新しい給食室で調理を開始した。						

③武蔵ヶ丘北小学校給食室改築工事		期 間	令和元年 ～ 令和6年				
概要	武蔵ヶ丘北小学校の給食室は、昭和60年に建設され、施設の老朽化が著しい状況である。併せて学級数の増加により配膳スペースが不足していることから、学校給食衛生基準に適合したドライシステムの給食室を整備するもの。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			61,385	2,603	20,350		
令和5年度の 取組内容	令和4年度に設計に着手し、令和5年7月に完了。令和6年度工事着手。						

④武蔵ヶ丘小学校給食室改築工事		期 間	令和5年 ～		令和6年		
概要	武蔵ヶ丘小学校の給食室は、平成26年度に耐震診断を行ったところ耐震不足で耐震補強改修を行うと改修後の調理場の動線に支障をきたすため、改築が適当であるとの診断結果を受け、平成27年度に仮設給食室を整備しており、その後、常設給食室設計、建設する計画であったが、教室不足の対応を優先せざるを得ず計画が先延ばしになっている。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			0	0	2,700		
令和5年度の 取組内容	設計に着手、令和6年度へ繰越した。令和6年度工事着手。						

【Check】事業の評価【Action・Plan】今後の方向

成果と課題	全8校のうち菊陽中部小学校、菊陽西小学校、菊陽中学校、武蔵ヶ丘中学校及び菊陽北小学校の5校については、改修、改築が完了しており、学校給食衛生管理基準に適合したドライシステムの給食室を整備している。 令和5年度は、武蔵ヶ丘小学校給食室の設計に取り組んだ。 今後のスケジュールとしては、令和4年度に設計に着手した武蔵ヶ丘北小学校は、令和6年度中の工事完成を予定している。また、令和5年度、設計に着手した武蔵ヶ丘小学校についても、令和6年度中の工事完成を目指しており教育施設的环境整備に向け着実に取り組みを進めている。
外部評価委員の意見	●評価としては、継続事業であり、E判定となっているが、計画的に進められており、成果としては良好である。

事務事業評価表

整理番号

6

評価対象年度	令和5年度		
担当課名称	教育委員会 中央公民館(生涯学習課)		
取組方針	基本施策	2	生涯学習・生涯スポーツの充実
	具体的な取組事項	①	生涯学習の推進 (P.10)
		ア	町民のニーズに沿った主催講座の実施

【取組の達成状況】

指 標		令和5年度(実績)			評価
成果指標 (事業の目的の成果を測る指標)	単位	目 標	実 績	達成率	C
自己評価	自主講座の生徒数 (P.10)	人	1,930	1,492	77%

A 達成できた(100%以上) B まあまあ達成できた(～80%) C 半分程度達成できた(～60%)
D あまり達成できなかった(～40%) E 達成できなかった(～0%)

【Plan】事業の計画と概要 【Do】実績

①各町民センターによる年間を通した主催講座の実施		期 間	平成30年 ～				
概要	中央公民館、武蔵ヶ丘コミュニティセンター、南部町民センター、ふれあいの森研修センターでは、生涯学習を推進し、青少年の健全な育成を図り、地域住民の交流活動の促進と地域の活性化を目的として主催講座を実施する。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			1,850	2,465	2,505		
令和5年度の取組内容	健康づくりやものづくり、体験活動、伝統文化活動をはじめ、令和5年度から国際講座を開講し、中央公民館15講座(全137回)、武蔵ヶ丘コミュニティセンター8講座(全50回)、南部町民センター16講座(全153回)、ふれあいの森研修センター12講座(全138回)を実施し、講師謝金2, 505千円を支出した。						

②各町民センターの各種講座を募集する「講座案内」の全戸配布		期 間	平成30年 ～				
概要	各町民センターの講座募集記事を集約した講座案内の冊子を発行し、3月末に全世帯に配布。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			954	1,050	1,053		
令和5年度の取組内容	講座案内冊子20,000部を発行し、1,053千円を支出した。子どもから高齢者まで幅広い世代に周知するため町ホームページに掲載し、参加率の向上を図った。						

【Check】事業の評価 【Action・Plan】今後の方向

成果と課題	令和5年度から通常に講座や講座発表会(センター祭)も開催できるようになり、コロナ前の日常を取り戻してきた状況です。主催講座開講率は、92.73%で、前年度の開講率92.30%を上回り、幅広く生涯学習を推進できた。また、外国人の転入も増加傾向にあり、国際講座も取入れ外国人の受講生も徐々に増えつつあります。今後も国際講座やDXに関する講座の充実を図り、実情に沿った講座を企画し、主催講座から自主的に活動する自主講座に移行してもらえよう働きかけを行う。なお、自主講座生の高齢化により辞めていく講座が目立つようになったことは今後の課題である。講座受講生が地域活動等に参加したり、国際共生及び交流に繋がるような取組みを検討したい。						
外部評価委員の意見	●英語や中国語などの語学を教える講座がもっと増えることで、多文化共生につながるのではないか。 ●子どもたちが、身近にある図書館や公民館、町民センター等の公共施設を利用して、子どもの頃から関わりを持つことで、後々の成長につながってとてもいいのではないか。 ●成果と課題に自主講座の高齢化により辞めていく講座が目立つようになったとあるが、受講生が地域活動に参加する機会を作ることで、成果が見えてやりがいもでてくるのではないか。						

事務事業評価表

整理番号	7
------	---

評価対象年度	令和5年度		
担 当 課 名 称	教育委員会 生涯学習課		
取組方針	基本施策	2	生涯学習・生涯スポーツの充実
	具体的な取り組み事項	③	健やかな青少年の育成(P.11)
		イ	地域学校協働活動の充実

【取組の達成状況】

指 標		令和5年度(実績)			評価
成果指標（事業の目的の成果を測る指標）		単位	目 標	実 績	達成率
自己評価	地域学校協働活動ボランティア延べ人数(P.11)	人	7,000	13,154	188%

A 達成できた(80～100%) B まあまあ達成できた(60～80%) C 半分程度達成できた(40～60%)
D あまり達成できなかった(20～40%) E 達成できなかった(0～20%)

【Plan】事業の計画と概要 【Do】実績

①地域学校協働活動推進員の設置		期 間	平成20年 ～ 終期未定				
概要	学校と地域を結ぶコーディネーターとして、事業の取りまとめを行う統括地域学校協働活動推進員1名、菊陽中学校区地域学校協働活動推進員1名、武蔵ヶ丘中学校区地域学校協働活動推進員1名を配置し、学校と地域の協働活動を推進する。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
令和5年度の取組内容	新型コロナウイルスの影響も減少傾向となり、地域と学校が協力できるよう地域学校協働活動推進員がコーディネートし、登下校安全指導、読み聞かせ、学習支援など様々な活動を実施することができた。	3,511	3,668	4,005			

②地域未来塾及び放課後子供教室の実施		期 間	平成28年 ～ 終期未定				
概要	①地域未来塾は幅広い地域の協力を得て、家庭での学習が困難な中学3年生へ学習機会を提供し、学力及び地域教育力の向上を図る。 ②放課後子供教室は令和4年度から小学校6校の体育館を活用しスポーツやその他の体験活動を実施。安心安全な放課後の居場所づくりと心豊かなたくましい子供の育成を推進。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
令和5年度の取組内容	①学習支援員を11名委嘱し、数学・英語の授業を7月末から2月末まで菊陽中学校47日、武蔵ヶ丘中学校48日実施した。参加者は、菊陽中学校20名、武蔵ヶ丘中学校10名であった。 ②低学年を対象にスポーツを中心に伝承遊びなどの体験活動を実施。各小学校5月から2月まで32回程度、全体で192回実施した。	889	4,639	3,155			

【Check】事業の評価【Action・Plan】今後の方向

成果と課題	令和5年度は新型コロナウイルスの影響も減少傾向となり、行事等も通常どおり実施が可能となった。 ボランティアは想定を大きく上回る延べ13,154人の参加があり、令和4年度比で906人増となった。ボランティア活動分野で参加が多いものとしては、登下校安全指導9,858人、読み聞かせ1,828人、総合的な学習の時間570人であった。引き続き新規ボランティアの募集を行い、地域学校協働活動推進員がコーディネートを実施することで、学校を核とした地域づくりを推進したい。
外部評価委員の意見	●交通安全指導について、非常に多くの方に指導をしていただいていることは大変ありがたい。 ●地域学校協働活動推進員の働き方によって、地域と学校とが連携して活動がうまく進んでいる。推進員が安心して働けるよう配慮をお願いしたい。 ●大学生は、在学中にどのような活動をしたのか、また活動を通して何を学んだのかを問われ、就職活動においても大変重要であることから、地域未来塾の学習支援員の募集において、ぜひ大学生にも声をかけていただきたい。 ●地域未来塾では、金銭的な負担がなく学ぶことができるため、とても良い取り組みである。参加者は、菊陽中学校が20名、武蔵ヶ丘中学校が10名であり、受け入れ態勢は整えているが、それほど参加ニーズがないのかもしれないが、子どもたちに活用してもらえるように周知や手立てを今後も行っていただきたい。

事務事業評価表

整理番号

8

評価対象年度	令和5年度		
担当課名称	教育委員会 生涯学習課		
取組方針	基本施策	3	文化・芸術の振興
	具体的な取組事項	②	文化ボランティアなどの人材育成 (P.11)
		ア	文化活動をする個人や団体の発掘・支援
		③	文化財や伝統文化の保護・保存・活用 (P.12)
		ウ	文化財マップやパンフレットなどの作成

【取組の達成状況】

指 標			令和5年度(実績)			評価
成果指標（事業の目的の成果を測る指標）		単位	目 標	実 績	達成率	C
自己評価	菊陽町文化財ボランティアガイドの案内者数(P.12)	人	2,600	1,300	50%	

A 達成できた(100%以上) B まあまあ達成できた(～80%) C 半分程度達成できた(～60%)
D あまり達成できなかった(～40%) E 達成できなかった(～0%)

【Plan】事業の計画と概要 【Do】実績

ア①文化財ボランティアガイドへの補助金の交付		期 間	平成22年度 ~				
概要	馬場楠井手の鼻ぐりを中心に町の歴史・文化について案内をする菊陽町文化財ボランティアガイドの会に対し補助を行う。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			100	100	100		
令和5年度の 取組内容	令和5年度の菊陽町ボランティアガイドの会会員は24名。会員の傷害保険や研修会にかかる経費等への補助として、100千円を交付した。						

ウ②鼻ぐり井手パンフレットの作成		期 間	年 ～				
概要	我が町が誇る県指定史跡「馬場楠井手の鼻ぐり」のパンフレット等文化財を案内するための印刷物の作成を行う。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			121	0	143		
令和5年度の 取組内容	台湾からの来町者が増加することを想定して、台湾語版の鼻ぐりパンフレットを143千円で作成した。						

【Check】事業の評価【Action・Plan】今後の方向

成果と課題	令和5年度はコロナ禍で減少していた案内者数が、修学旅行や視察が再開されたことで、増加傾向にあったものの、目標数を大幅に下回る結果となりました。 そのため、今後は新規の普及活動やパンフレットの大幅な刷新など積極的に行うことで、目標に近づけるとともに、ガイドの会員数も増加させたいと考えます。
外部評価委員の意見	●11月に開催された鼻ぐり井手祭では、子どもたちが鼻ぐり井手のガイドをしていた。子どもたちが自信を持ち、郷土愛の育成のためにも引き続き進めていただきたい。 ●様々な言語で、現地の動画やガイドの説明が観れるようにQRコードの活用を検討していただき、多文化共生につなげていただきたい。

事務事業評価表

整理番号	9
------	---

評価対象年度	令和5年度			
担 当 課 名 称	教育委員会 スポーツ振興課			
取り組み方針	基本施策	2	生涯学習・生涯スポーツの充実	
	具体的な取り組み事項	②	生涯スポーツの推進	
		ウ	スポーツ施設の整備・充実	

【取組の達成状況】

指 標		令和5年度(実績)			評価
成果指標（事業の目的の成果を測る指標）		単位	目 標	実 績	達成率
自己評価	体育施設利用者数の増加(P10)	人	195,000	219,041	112%

A 達成できた(80～100%) B まあまあ達成できた(60～80%) C 半分程度達成できた(40～60%)
D あまり達成できなかった(20～40%) E 達成できなかった(0～20%)

【Plan】事業の計画と概要 【Do】実績

①総合体育館の建設・運営		期 間	年 ～ 終期未定				
概要	メインアリーナ1,664㎡:バスケットボールコート2面・バレーボールコート3面・バドミントンコート10面 サブアリーナ627㎡:バスケットボールコート1面・バレーボールコート1面・バドミントンコート3面 スタジオ・トレーニング室などを配置	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
					295,278		
令和5年度の取組内容	令和5年10月から供用開始し、落成記念イベントとして10月に菊陽福幸スポーツフェス、11月に熊本ヴォルターズホームゲーム、12月に大相撲菊陽場所を開催し、多くの来場者があった。 また、11月にトレーニング室、12月にアリーナを一般開放した。						

②町民体育館及び総合グラウンドの整備促進		期 間	年 ～ 終期未定				
概要	老朽化が進んでいる町民体育館(昭和47年建築)及び総合グラウンド(昭和54年建築)を適切に維持管理し、町民のスポーツ活動の場を提供する。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
					354		
令和5年度の 取組内容	・町民総合運動場野球場ファールボール撤去・取り換え ・町民総合運動場野球場コートブラシの設置						

【Check】事業の評価【Action・Plan】今後の方向

成果と課題	【成果】 総合体育館のオープンにより同施設を6カ月で37,962人が利用した。特にメインアリーナにおいては、大規模な大会、催し物の利用が多数あった。 【課題】 昨今の地球温暖化により、空調設備を備えていない施設における熱中症対策が課題となっている。 町民体育館においても空調設備がないため夏場の熱中症対策に苦慮しており、また、同施設が町の指定一般避難所にも指定されていることから、空調設備の整備に努める必要がある。
外部評価委員の意見	●町民体育館等の空調設置に向けて今後も推進をお願いしたい。 ●総合体育館のテニスコートが今年度中に完成予定とのことだが、とても素晴らしい施設ができるということで、町民の方へ広く開放していただき、しっかりとPRをお願いしたい。 ●車いすテニスの田中愛美さんが、パラリンピックで金メダルを獲得され話題となった。障害を持つ方々のスポーツの推進や、テニスコートが障害を持つ方々にも使いやすい施設となるよう環境を整えていただきたい。

事務事業評価表

整理番号

10

評価対象年度	令和5年度		
担当課名称	教育委員会 図書館		
取組方針	基本施策	2	生涯学習・生涯スポーツの充実
	具体的な取り組み事項	①	生涯学習の推進(P.10)
		ウ	中央公民館、町民センター、図書館などの運営の充実

【取組の達成状況】

指 標		令和5年度(実績)			評価
成果指標（事業の目的の成果を測る指標）(P.10)	単位	目 標	実 績	達成率	A
自己評価	図書館の年間図書貸出冊数	冊	230,000	222,435	96%

A 達成できた(80～100%) B まあまあ達成できた(60～80%) C 半分程度達成できた(40～60%)
D あまり達成できなかった(20～40%) E 達成できなかった(0～20%)

【Plan】事業の計画と概要 【Do】実績

①町民の「学び 暮らし 仕事」を支える図書館サービスの提供		期 間	H15年 ～				
概要	図書館において、町民の読書推進を図るとともに、地域の良きパートナーとして、町民の「学び 暮らし 仕事」を支えるための情報の収集や発信を行うことで、町民の心豊かな生活を支援するため、常に時代のニーズに応じた新しい情報や図書資料を購入し提供する。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			9,116	9,184	9,239		
令和5年度の取組内容	新たに4,553点の図書資料を購入し、利用者に提供するとともに、経年により内容が現在にそぐわない図書資料など4,287点をリサイクル等にて廃棄処分を行った。令和5年10月から、きくち圏域電子図書館(菊池市、大津町と共同運用)に参加した。						

【Check】事業の評価【Action・Plan】今後の方向

成果と課題	図書館の蔵書については、読書推進の役割に加えて、町民の「学び 暮らし 仕事」を支えるための指針となるべき重要な役割があり、住民ニーズや時代の変化に応じた選書を実践してきた。限りある予算や収容可能蔵書数の中で、利用状況等を精査し、特に廃棄やリサイクル等を有効に活用しながら的確な新書更新を進めてきた。その効果を図るため、貸出冊数やレファレンス(相談)件数を指標に加えている。図書館の貸出数は昨年度よりもやや増加し、概ねその目標を達成できたと総括している。令和5年10月から、きくち圏域電子図書館(菊池市、大津町と共同運用)に参加した。これまで開館時間中に図書館に来館できなかったり、学校図書館で人気の本を借りたりとの利用はあるものの、広報不足やコンテンツの偏り(小説の電子図書が少ない)により利用が多いとは言えない状況である。また、これまで蔵書の少なかった外国語図書(英語、台湾語等)の購入を進めている。
外部評価委員の意見	●ヤングアダルトが電子書籍に触れる機会を引き続き周知していただきたい。 ●来館した際、中高生が紹介するポップ展コーナーがあった。読んでほしい本について、子どもたち自身がイラストや言葉で紹介して発信することはとても良い。 ●子どもたちが図書を通じて関わりを持てることがとても素晴らしい。

事務事業評価表

整理番号	11
------	----

評価対象年度	令和5年度		
担当課名称	教育委員会 図書館		
取組方針	基本施策	3	文化・芸術の振興
	具体的な取り組み事項	①	文化・芸術活動の支援と触れる機会の確保(P.11)
		ア	図書館ホール自主文化事業やアウトリーチ活動等による芸術に触れる機会の充実

【取組の達成状況】

指 標		令和5年度(実績)			評価
成果指標（事業の目的の成果を測る指標）		単位	目 標	実 績	達成率
自己評価	アウトリーチ体験者数(事業開始時からの累計) (P.11)	人	7,000	5,507	79%

A 達成できた(80～100%) B まあまあ達成できた(60～80%) C 半分程度達成できた(40～60%)
D あまり達成できなかった(20～40%) E 達成できなかった(0～20%)

【Plan】事業の計画と概要 【Do】実績

①「みんなでできよう♪コンサート」「芸術文化公演」の実施		期 間	平成23年 ～				
概要	図書館ホールの事業を通じて、町民の芸術文化に対する気運を高めるとともに、一流の「芸術文化を町民に鑑賞・体感していただく場を提供する。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			0	1,399	1,021		
令和5年度の取組内容	『砂音の奏でる世界～サンドアートと生演奏～』(2月25日:来場者351名) プロのアーティストによるサンドアートと音楽演奏のコラボレーションを実施。終演後に舞台上で実施したサンドアートの体験には、親子連れを中心に多くの方が参加した。						

②アウトリーチ活動による一流の芸術文化を体験できる場の提供		期 間	平成23年 ～ 終期未定				
概要	プロの演奏家の音楽を身近に体感してもらい、一流の音楽の鑑賞と創造性を養うことを体験する場を提供する。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			0	465	600		
令和5年度の取組内容	町内小学校6年生(菊陽南小学校のみ5・6年生)を対象に、のべ13回実施(対象児童461人)						

【Check】事業の評価【Action・Plan】今後の方向

成果と課題	自主文化事業としては、サンドアートを取り入れたことによって映像の視覚的な魅力とプロが奏でる音楽が融合し、創造性が高まる公演となった。終演後のサンドアート体験の状況やアンケートの内容から見ても、来場者には心に残る公演になったことと思う。平成23年度から実施しているアウトリーチ事業については、学校側や演奏家の協力もあり、今年度までにのべ153回実施し、対象者も5500人を超えた。クラシック音楽への導入だけではなく、子どもたちの想像力や発想力を豊かにするきっかけになるとなる事業なので、今後も継続していきたい。
外部評価委員の意見	●プロの演奏を生で聴くことは、自分の将来のターニングポイントとなり、将来のキャリア教育にもつながることから今後も引き続き進めていただきたい。

事務事業評価表

整理番号	12
------	----

評価対象年度	令和5年度				
担当課名称	教育委員会 人権教育・啓発課				
取組方針	基本施策	4	人権尊重の社会づくりの推進 (P.12)		
	具体的な取組事項	①	人権教育・啓発の推進		
		ア	人権教育・啓発イベントの実施		
		ウ	各種団体、企業等に対する研修会の実施及び支援		
		エ	指導者養成のための研修会の実施		
		オ	就学前、学校教育における人権教育の推進		

【取組の達成状況】

指 標		令和5年度(実績)			評価
成果指標 (事業の目的の成果を測る指標)		単位	目 標	実 績	達成率
自己評価	「人権のまち菊陽フェスタ」参加者数	人	375	253	67%
自己評価	「人権のまち菊陽フェスタ」に参加して、人権問題についての関心・理解が深まったと感じた割合	人	375	253	67%

A 達成できた(100%以上) B まあまあ達成できた(～80%) C 半分程度達成できた(～60%)
D あまり達成できなかった(～40%) E 達成できなかった(～0%)

【Plan】事業の計画と概要 【Do】実績

ア①人権のまち菊陽フェスタの実施		期 間	平成12年～以前				
概要	人権を尊重する社会づくりを目指して、町民等を対象に、講演会やコンサート、劇といった様々な表現活動を通して、人権啓発を行うもの。	事業費(決算額)単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			0	329	269		
令和5年度の取組内容	山都町を活動拠点として自作自演生演奏の出前ミュージカルとして活躍されている劇団「天然木」によるオープニングコンサートを行い、その後、講師に「ともに拓くLGBTQ+の会くまもと代表 今坂洋志さん」を招き、「性的マイノリティってご存知ですか？性の人権について考える」と題し、講演会を行いました。						

ア②菊陽町人権子ども集会の実施		期 間	平成12年～以前				
概要	町内の児童生徒が一堂に会し、各学校の活動の発表や展示をすることにより、自分の周りにある差別に向き合い、差別を許さない仲間づくりを推進する事業。	事業費(決算額)単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			0	116	1,073		
令和5年度の取組内容	町内小中学校の子どもたちによる「菊陽町人権子ども集会」の実行委員会を設置し、児童生徒の自主的な企画運営のもと、人権問題に関する集会を実施した。						

ウ③町内企業を対象とした研修会の実施		期 間	平成12年～以前				
概要	人権研修を通して、町内企業の人権擁護の意識を高め、明るく働きやすい職場づくりや、公正な選考、採用による就職機会均等の推進を図るための事業。	事業費(決算額)単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			35	35	0		
令和5年度の取組内容	企業が行う人権問題に関する研修に対して、講師の紹介や人権啓発DVDの貸し出しなどの支援を行っている。						

エ④行政職員を対象にした研修の実施		期 間	平成12年 以前 ～				
概 要	菊陽町職員として人権を大切にする資質を磨き、部落差別(同和問題)をはじめあらゆる差別に対する基本的認識を培い、人権教育・啓発活動のリーダーとしての自覚を持つ行政職員を育むことを目的とした事業。	事 業 費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			0	0	0		
令和5年度の 取組内容	令和3年度から始めたフィールドワークを昨年度参加できなかった職員、令和5年度採用職員を対象に実施。						

オ⑤教育集会所での学習会の実施		期 間	平成12年 以前 ～				
概要	教育集会所を拠点とした、部落差別をはじめあらゆる差別を解消するための学習会、講座等の運営	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			2,109	2,557	2,479		
令和5年度の 取組内容	人権問題や通常教科等の学習を年間通して実施。						

オ⑥多文化共生学習会の実施		期 間	平成12年 以前 ～				
概要	武蔵ヶ丘小学校、武蔵ヶ丘中学校を中心に、外国にルーツを持つ子どもに対しての日本語学習、教科学習、地域交流、文化交流を通して、共に支え合い、共に生きていくための多文化共生学習会。	事業費 (決算額) 単位:千円	R3	R4	R5	R6	R7
			653	972	1,003		
令和5年度の 取組内容	日本語学習、通常教科、人権問題等の学習を年間をととして実施。						

【Check】事業の評価【Action・Plan】今後の方向

成果と課題	主な成果としては、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザの流行等が心配されたが、「人権のまち菊陽フェスタ」を予定どおり開催することができた。「菊陽町人権子ども集会」については、4年ぶりに集会形式で開催することができた。集会所等を活用した学習会等については、ほぼ計画どおり実施することができた。このようなことから、「人権のまち菊陽フェスタ」への参加者が、令和4年度の目標達成率40%から67%に上がり、町民の差別のないまちづくりへの関心が少しずつではあるが高まったのではないかとと思われる。 今後の課題として、人権尊重の社会づくりの推進という大きな課題解決には、町民の人権問題に対する意識の効用を図る必要がある。そのために、人権問題に関心を持ってもらうための情報発信、社会情勢を考慮した研修や講演会を実施することで、多くの人に関心をもっていただけるのではないかと考える。
	●きくよう広報に、人権学習について生徒の作文が掲載されており、また、人権子ども集会の案内に中学生からの言葉が掲載されていた。子どもたちの力で人権教育を進めていることが分かる。このように身近な広報誌による啓発は大変有効であり、今後も継続して行っていただきたい。 ●学校内だけでなく、企業向けの人権教育研修会の実施や、講師派遣等により人権教育を広げていただきたい。 ●多様な文化を受け入れるということは、人権尊重の基本ではないかと思う。文化的なものだけでなく、考え方についても人と違うんだということを受け入れることが大切である。多文化共生の理解は、いじめ防止にも役立つのではないかと思う。 ●様々な外国籍を持つ子どもたちが菊陽町に転入している。外国人と交流できるイベントを企画し、学校を超えた子どもたちとの交流ができる場を検討していただきたい。

6 菊陽町教育委員会外部評価委員会委員名簿

(敬称略)

役職	氏名	区分	備考
委員長	益田 亮英	学識経験者	学校運営協議会委員・元大学教授
副委員長	池田 幸春	学識経験者	元熊本県立菊池少年自然の家所長
委員長	吉田 明博	学識経験者	元公立中学校長
委員	村松 陽子	元教育委員	元教育委員

7 菊陽町教育委員会外部評価委員会開催状況

① 令和6年10月29日（火）

教育委員会の状況、活動状況及び事務事業の説明

② 令和6年11月21日（木）

事務事業点検・評価の意見まとめ